

4月末に調査した2005年5月の「消費意欲指数」の結果がまとまりました。  
2005年5月の消費意欲は、先月から2.1ポイント増加し、  
53.8点でした  
前年同月比では、3.4ポイントの大幅増加となる。

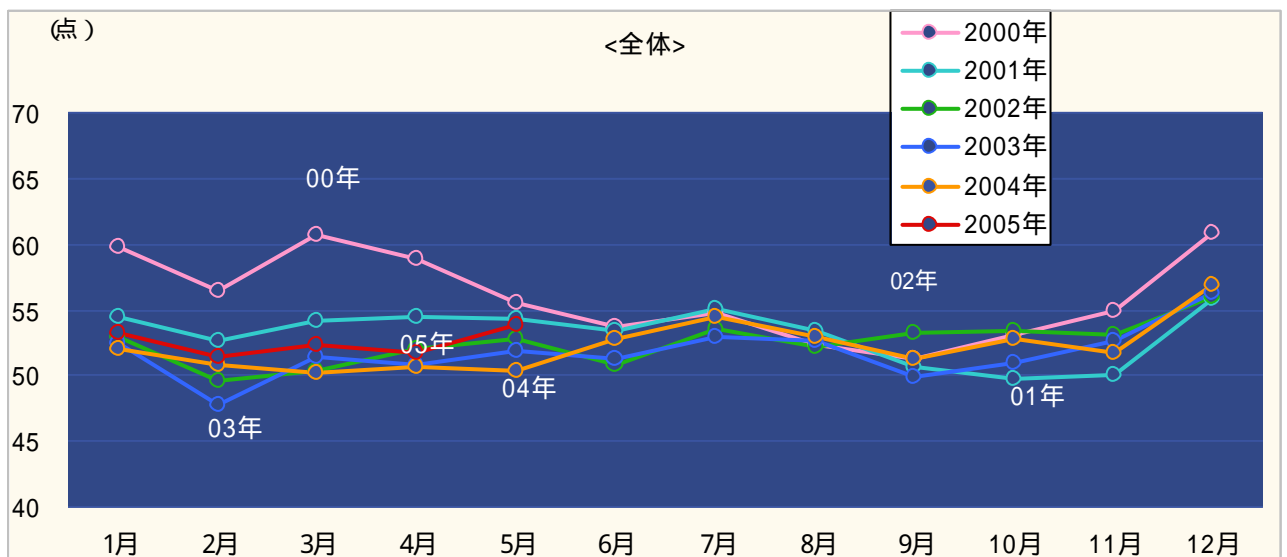
「消費意欲指数」は、月別の消費の先行指標として、1993年より注目されているデータです。

4月末時点で、博報堂生活総合研究所の調査パネルである一般生活者420名に対し「消費意欲（モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求）が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの5月の消費意欲は何点ぐらいでしょうか？」と質問した結果が、「5月の消費意欲指数」です。

この消費意欲指数は、月別の消費を占う先行指標として、1993年4月の調査開始以来、幅広く活用して頂いています。

2005年5月の消費意欲指数は、先月から2.1ポイント増加し、53.8点でした。

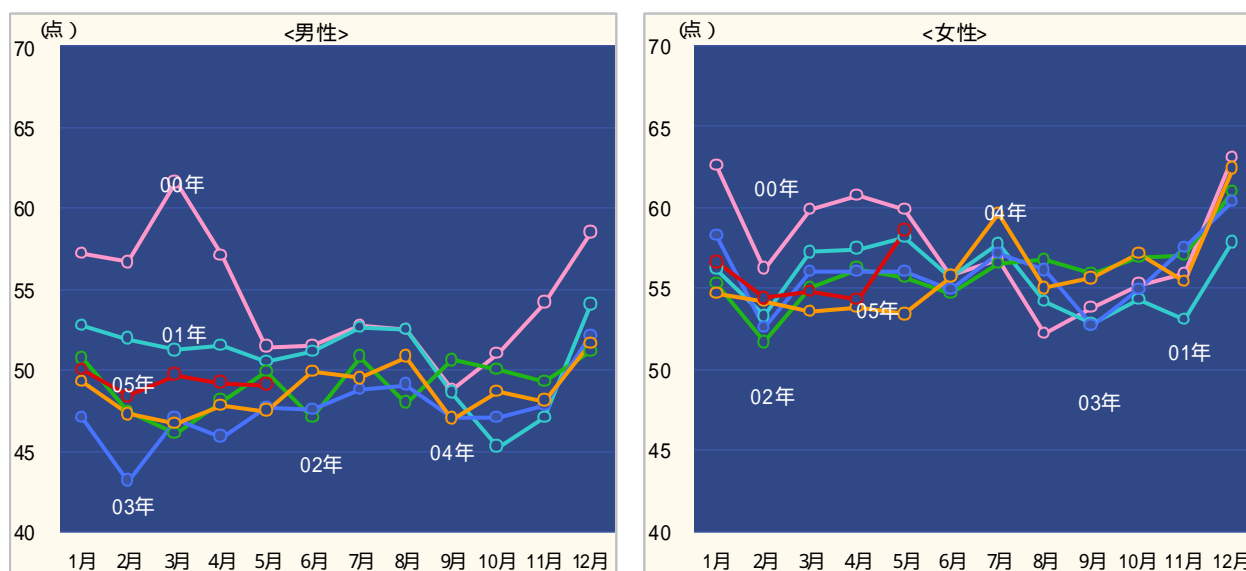
5月の消費意欲指数は先月から2.1ポイント増加で53.8点となり、今年に入り最高の数値となりました。GWを間近に控えた時期の調査ゆえ、遊びやレジャーを中心に消費意欲の高まりが感じられます。また、5月の数値としても前年同月に比べ3.4ポイントの大幅増となり、4年ぶりに53点を超えました。これで前年同月比は6ヶ月連続の増加となり、消費意欲はしっかりと回復傾向を維持しています。内閣府の発表によれば、1-3月の実質GDPは高い伸びを示し、その理由として雇用・所得環境が改善する中での個人消費の伸びが挙げられています。本調査でも、生活者の消費に対する前向きな気持ちが窺えます。



### 先月に比べ女性の指数が大幅に増加、前年同月比も男女ともに増加。

男女別の5月の消費意欲指数は、男性が先月比 - 0.1ポイントで49.1点、女性が + 4.2ポイントの大幅増で58.5点となりました。前年同月比では男性で + 1.6ポイント、女性で + 5.1ポイントと、こちらでも女性の大幅な伸びが目立ちます。5月の消費意欲指数の伸びは女性が牽引したといえます。

同時に調査をしている生活力点では、大型連休となるGWが控えているということで、海外旅行や温泉めぐり、万博見物など、男女とも「余暇・レジャーに力を入れたい」人が65%前後となり、先月比で11ポイント強の大幅な増加となりました。前年同月比でも8ポイント強の増加となっており、これが5月の消費意欲アップの大きな要因となっていると思われます。



博報堂生活総合研究所のHP ([www.athill.com](http://www.athill.com))では、「消費意欲指数」も含め、生活者に関する調査データにご自由にアクセスすることが可能となっております。是非一度ご覧ください。

#### 【調査概要 HILL ネット調査】

調査地域 首都圏 / 調査対象者： 19~73才の男女個人420人 / 調査方法 郵送法

本件に関する詳細のお問い合わせは  
博報堂生活総合研究所 (03-3233-6450) までお願いいたします。

